

Tokyo Akademische Kapelle

東京アカデミッシェカペレ

東京アカデミッシェカペレは、合唱指揮者として活躍している阿部 純氏を団長、作曲家・キーボード奏者である鈴木隆太氏を副団長として創設されたアマチュアとしては数少ないオーケストラと合唱団の共存する団体である。社会人を中心に学生、主婦など10代～60代と幅広い年齢層からなるメンバーは「ライフサイクルを通した音楽活動」をテーマに、数多くの優秀なプロの指導陣の協力を得て、春秋年2回の演奏会を行っている。

1990年2月の第1回演奏会以来、ゲルハルト・ボッセ、外山雄三、飯守泰次郎、小林研一郎、井上道義各氏をはじめとするさまざまな指揮者・ソリストとの共演を重ね、貴重な音楽経験を積んできている。

これらの演奏活動は「常任指揮者を置かず、毎回指揮者の意向を取り入れた独創的なプログラムを組むことにより、斬新で水準の高い演奏を目指す」という当団の方針によるものである。今後もオーケストラと合唱が共存する事によるあらゆる可能性を求め、独自の活動、運営を目指して行きたいと考えている。

藤岡 幸夫(指揮)



©s.yamamoto

日本指揮者界の重鎮であった渡邊暁雄最後の愛弟子、サー・ゲオルグ・ショルティのアシスタントを務める。

英国王立ノーザン音楽大学指揮科卒業。1992年最も才能あるEU加盟国の若手指揮者に贈られるサー・チャールズ・グローヴス記念奨学賞を特例で受賞。1994年ロンドン《プロムス》にBBCフィルハーモニックを指揮してデビュー、大成功を収め、以降ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、ロイヤル・リヴァプール・フィルハーモニー管弦楽団等多くの海外オーケストラに客演。2006年スペイン国立オヴィエド歌劇場ブリテン「ねじの回転」がその年の同劇場新演出オペラ年間ベスト・パフォーマンスに選ばれると、2009年にはR.シュトラウス「ナクソス島のアリアドネ」で再び脚光を浴び、2024年11月のフォーレ没後100年の命日には、パリのマドレーヌ寺院で「レクイエム」を指揮する栄誉を担った。

現在関西フィルハーモニー管弦楽団 総監督・首席指揮者、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 首席客演指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団 アーティスティック・アドヴァイザー(芸術顧問)を務める。毎年40以上の公演で共演し2026年が27年目のシーズンとなる関西フィルとの一体感溢れる演奏は高い評価を得、2025年4月からは総監督としても楽団を牽引。2019年の就任直後から展開している東京シティ・フィルとの特徴ある活動は毎回大きな注目を集め、2026年4月に就任した中部フィルとはこれから新たな道を歩む。

英シャンドスからBBCフィルとのCDを8枚、ALM RECORDSから関西フィルとのシベリウス交響曲全集をリリース。著書『音楽はお好きですか?』三部作を敬文舎より刊行。

番組の立ち上げに参画し、指揮・司会として関西フィルと出演中のBSテレ東「エンター・ザ・ミュージック」(毎週土曜朝8:30・BSテレ東公式YouTubeチャンネルでアーカイブ配信中)は2025年10月で12年目、放送600回に迫る人気番組。

2002年渡邊暁雄音楽基金音楽賞受賞。

公式ファンサイト <http://www.fujioka-sachio.com/>

合唱団員募集

各パート(特に男声)募集。60歳以下で合唱経験のある方。
練習日程・会場、費用等の詳細はお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

E-Mail: tokyo.akademische.kapelle@gmail.com

次回演奏会案内

第72回演奏会
日時: 2027年6月5日(土)
会場: すみだトリフォニーホール

指揮: 水戸 博之
曲目: P.デュカス/「魔法使いの弟子」
G.フォーレ/「パヴァーヌ」「ラシーヌ讃歌」
M.ラヴェル/「ダフニスとクロエ」(全曲)